

経営比較分析表（令和元年度決算）

熊本県 南関町

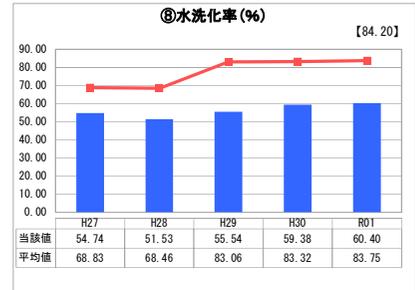
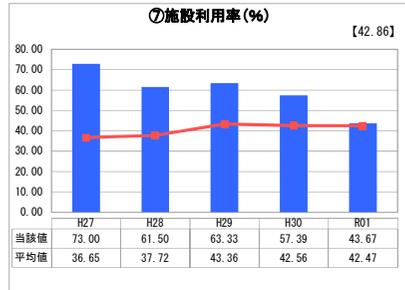
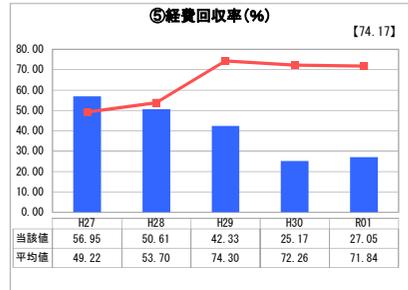
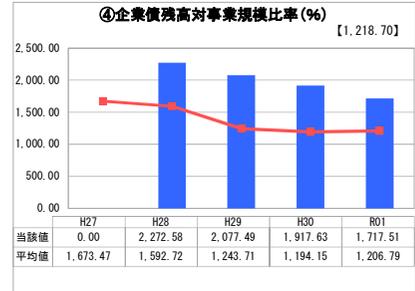
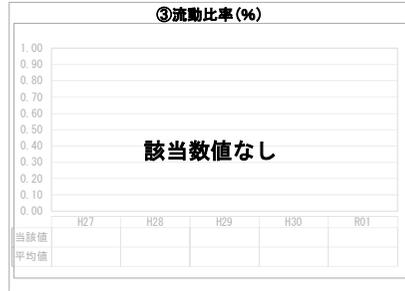
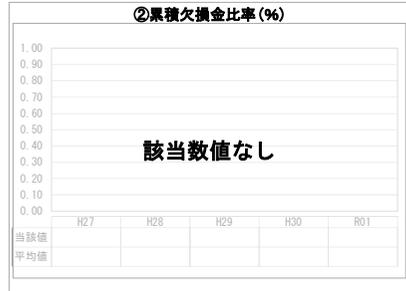
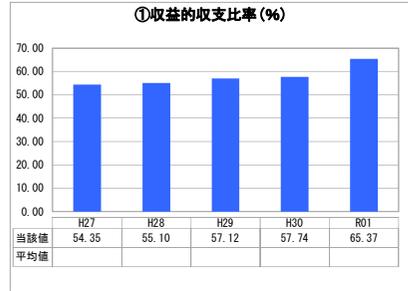
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	26.15	100.00	3,360

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,633	68.92	139.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,505	1.11	2,256.76

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

⑧水洗化率が低い状況にあるため、使用料、汚水量ともに少なく、類似団体に比べ④企業債残高対事業規模比率・⑥汚水処理原価は高く、①収益的収支比率・⑤経費回収率は、低い値を示している。

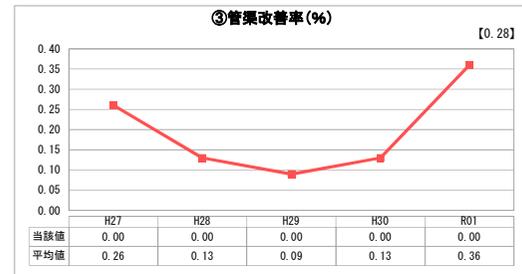
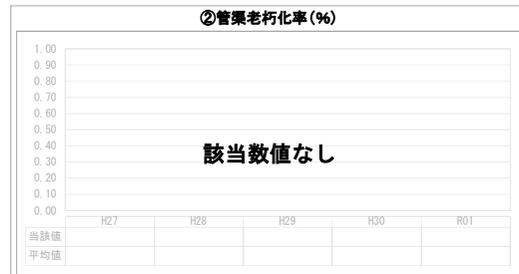
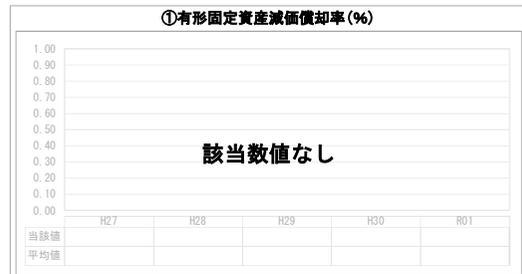
令和元年度下水道加入状況
 処理区域内人口 2,505人
 下水道普及人口 1,513人 普及率 60.4%

(今後の対策)
 経営戦略を策定するとともに、下水道接続への加入促進、料金改定等を行う。

2. 老朽化の状況について

H14.4に供用開始し17年経過している。H30年度からR元年度にかけて下水道施設ストックマネジメント計画を策定しており、計画に基づき老朽化対策を行う。

2. 老朽化の状況



全体総括

下水道処理区域の面整備については、H30年度において完了し、支出の面では、地方債償還金額や維持管理費の割合が多い。また、これから始まる老朽化施設更新費用の増加も懸念される。

今後の経営については、R2年度に経営戦略を策定することとしており、この計画に基づき、加入促進や料金改定等を検討することにより健全な経営を目指し、安全で安定した事業の継続に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。